

## 第32回 口腔機能って何だろう？

＝「認知症の方」の食事「困りごと」と対処法について＝

(その7)

北九州在宅医療・介護塾  
塾長 久保 哲郎

先月に引き続いて「食事で困っていること」をテーマにして、その対応策についてご紹介します。

### Q-1:食べ物を前にして食べない。

●食べることに集中できていないのかもしれませんが。テレビをみたり、お友達と会話が弾むなど、視覚情報や聴覚情報が余りにも多すぎてしまうと、そちらの方が気になりすぎて食べることに集中できないことがあります。

このような場合には、食事中はテレビを消したり、外の景色が見えない場所に席替えをしたり、食事中は声掛けを控えるなど、食べることに集中できるようにしてはどうでしょうか。

食べ始めても直ぐに食べるのを止めてし

まうような場合は、集中力を長く維持出来ないのかもしれませんが。

そのような場合は一端中止し、時期をずらすなどリセットしてはどうでしょうか。

●食べる方法を考えているうちに、どのようにして食べたら良いか分からなくなってしまい、食べられなくなってしまっているのかもしれませんが。

例えば、焼き魚の骨を取らなくてはならない、スイカの種を取らなくてはならない時には、目の前で、骨や種を取り除くのを見せ、食べやすくした後に提供してはどうでしょうか。ご本人がみえない場所で骨を取り身をほぐして盛り付けると、それが「魚の塩焼き」と理解できない場合があります。

次回に続きます。

### ＝視覚的に「摂食・嚥下」が可能か判断ポイント＝

- ・日中、開眼しているか。
- ・顎の開閉運動は可能か。
- ・舌の上下・左右運動は可能か。
- ・口唇の閉鎖は可能か。
- ・RSSTは30秒間に3回以上可能か。

